

MILE. 協調関係

1. BRICS諸国における50億米ドルの日々の売買数量がある監督させるフィアット半政府間の仮想通貨取引所：
 - a. 国際的な顧客が不安定な現地通貨の代わり安定した資産に価値を保管し、移転することを可能にする
 - b. オープンのグローバルな暗号取引
2. 政府間ビジネス/ロビイスト組織（28カ国）：
 - a. 金融や貿易や産業などの企業がオフライン資産を評価し、トークン化し、取引し、担保できる国際的な金融取引市場を確立する
 - b. 政治制裁を避け、最も収益性の高い国に投資する
3. 10億人以上が関わる政府間コミュニティ：
 - a. 国際貿易と資金調達/投資市場を確立する
 - b. 価値の保存して移転するためのノンファットツールを確立する
 - c. 地元の支店やサブコミュニティが、グローバルなコンセンサスを使用してお金を印刷できるようにする
 - d. 国境を越えた支払い/送金のための費用と時間を削減する
4. BRICS諸国における政府銀行：
 - a. 政治制裁を避けて、外国人投資家が、途上国や収益性の高いビジネスに投資することを許可にする
5. BRICS諸国における大規模な金融産業グループ：
 - a. ステルスモードの無修正の資本保管と移転
6. 中国や韓国やヨーロッパからの仮想通貨取引所(日々の売買数量1億米ドルまで):
 - a. XDRに対して揮発性の暗号を作る。それは今秋XDRコインマーケットキャップのボリュームが1日に10億米ドルに達するようになる。
 - b. 自分でXDRをミントするため透明なエミッションアルゴリズム（USDTとは異なり）を介してマスターノードを購入する
 - c. 透明なアルゴリズムでXDRを発行するMILEを購入する（USDTとは異なり）
 - d. 市場が赤字である中のヘッジツール
 - e. 銀行や取り締まり人を取り除く（例えば、フラット暗号から暗号暗号までのシフト）
 - f. グローバル展開を容易にする。XDRは、すべての現地通貨で毎日計算される国際指標である (http://www.imf.org/external/np/fin/data/rms_sdrv.aspx)。)
 - g. 国境を越えた裁定取引を行う
7. 中国・韓国・ヨーロッパ・アフリカ・ロシアのフィアット仮想通貨取引所のサービス：
 - a. 国境を越えた取引の方がBTCまたはUSDTを使用することより100倍高速で簡単に送信できる
 - b. 暗号通貨市場は赤字である中ヘッジする
8. セネガルのオフライン送金/交換：
 - a. EU労働者からの外国送金取引
 - b. EUから中古車と電子機器の購入
 - c. 隣国との米や魚などの資源の貿易